国立大学法人 福島大学 Fukushima University

プレス発表資料６

令和８年１１月１１日

東北初
「スマートライフデザイン －AI 共生社会と簿記会計－」
講演会の開催について

このたび、福島大学経営経済学類では、株式会社ピーシーデポコーポレーション代表取締役社長（スマートライフ教育研究所所長）の野島隆久氏による講演会を開催します。

野島氏によるスマートライフデザインに関する講演会は２０２５年６月に東京大学、同年１１月に京都大学において先行実施されていますが、東北地方においては初開催となります。

講演会では、近年発達が著しい AI を初めとするデジタル技術が社会に与える影響と、簿記会計との関係についてお話しいただきます。ぜひ取材方、お願いいたします。

【講演会概要】

日　時：２０２６年１１月１６日（月）　１６：２０～１７：５０（５限）

場　所：福島大学Ｌ３講義室

講　師：野島　隆久氏　株式会社ピーシーデポコーポレーション代表取締役社長（スマートライフ教育研究所所長）

参加者：「簿記概論Ⅱ」履修学生（本講演会は授業の一環として実施するものであるため、一般の方の参加は受け付けておりません）

昨今の急速なデジタル化と AI の発展は、私たちの生活や企業活動など、社会のあり方を大きく変えつつあります。スマートライフデザインは、単に新しいデジタル技術を使いこなすことではなく、生活者一人ひとりがAIなどのデジタル技術を理解し、主体的に選択・活用しながら、より豊かな生活や社会のあり方を考えることを重視する考え方です。

とりわけ簿記・会計の分野では、AI によるデータ処理や分析の高度化が進み、記録・集計といった定型的な業務だけでなく、異常の兆候やリスクの把握、意思決定の支援などへ活用領域が広がっています。その一方で、AI が示す情報をどのように評価し、最終的な判断や説明責任につなげるかという、人にしか担えない役割の重要性も一層高まっています。

本講演会では、AI をはじめとするデジタル技術が社会にどのような変化をもたらすのかを見渡しながら、簿記・会計の学修や実務がこれからどのように変わっていくのか、そして AI 時代に求められる知識・判断力・リテラシーはどのようなものか、考えていきます。

（お問い合わせ先）
経済経営学類・教授　稲村　健太郎
メール：inamura@econ.fukushima-u.ac.jp

講演会

スマートライフデザイン

―AI共生社会と簿記会計―



日時
2026年11月16日(月)
16:20～17:50

場所
福島大学 L3講義室

講　師



野島 隆久 氏

株式会社ピーシーデポコーポレーション
代表取締役社長
スマートライフ教育研究所 所長

2025年6月に
東京大学、同年11月に
京都大学で先行実施された
スマートライフデザインに
関する講演会を、福島大学で
開催します。
東北地方では
初開催です。

講演内容

急速なデジタル化とAIの発展は、私たちの生活や企業活動など、社会のあり方を大きく変えつつあります。
本講演会では、AIが社会にもたらす変化を見渡しながら、なぜスマートライフデザインが重要なのか、AI共生社会における簿記・会計の学修や実務で求められる知識・判断力・リテラシーはどのようなものかを考えます。

お問い合わせ

福島大学 経済経営学類 教授　**稲村 健太郎**
e-mail: inamura@econ.fukushima-u.ac.jp